

### 大澤家住宅旧文庫蔵

今回紹介する近代化遺産は、県道行田蓮田線（新町通り）に面した行田9-5に所在する市内唯一の煉瓦蔵である国指定登録有形文化財大澤家住宅旧文庫蔵です。

この蔵を所有する大澤家は、江戸時代には穀質商「松坂屋」を営み、当主が代々専蔵の名を襲名していたことから、「松専」とも呼ばれていました。明治17年（1884）に6代専蔵（喜蔵）が足袋商に転業し、「花形足袋」の商標で成功を収め、明治40年（1907）に発足した埼玉足袋同業組合の初代組合長に選ばれています。後を継いだ7代専蔵（正太郎）も明治45年（1912）に「行田足袋研究会」を結成し、奥貫芳三郎とともに幹事を務め、ミシンの導入、縫製工程の改善など行田の足袋産業発展に大きな役割を果たしています。

この間口4間半、奥行き2間半の鉄筋コンクリート補強煉瓦積み、棧瓦葺切り妻屋根平入り総2階建ての足袋蔵は、関東大震災でそれまで使っていた土蔵が破損したのを契機に、厄年であった7代専蔵が、厄年に散財すると厄落としになるといわれていることから建設を決意したものです。自ら「建築が第一の趣味」と述べている7代専蔵は、関東大震災での東京都内の土蔵の被災状況を目の当たりにし、復興博覧会で

煉瓦の耐火試験を見て、煉瓦造りを思い立ち、調査研究を重ねた結果、鉄筋コンクリート補強煉瓦造としたのです。

この蔵は大正14年（1925）4月25日に起工され、同年10月15日に上棟、翌年6月9日に落成しています。棟札によると設計者は熊谷市の林松五郎、施工は大工が関口由三郎、鳶が篠崎幸吉、煉瓦が田島由五郎です。外見の鉄筋コンクリートの水平ラインが印象的で、煉瓦も黒ずんだ手焼きによる自然な色違いが見られるものを使用するなど、7代専蔵のこだわりとセンスが感じられる見事な足袋蔵です。

なお、7代専蔵はこの足袋蔵に続いて、南側に店舗兼住宅を建設していますが、こちらも昭和初期の行田を代表する見事な建物です。

（文化財保護課 中島洋一）



大澤家住宅旧文庫蔵

# キラリ元気★

No.88

夏野菜キーマカレー

10分クッキング

色の濃い夏野菜は、抗酸化作用を持つものが多く、なすのナスニン、トマトのリコピンはポリフェノールの一種で、動脈硬化やがんの予防効果もあるといわれています。

短時間で出来るキーマカレーは香辛料が食欲をそそり、蒸し暑い夏にぴったりです。

材料（2人分）

- A【なす・きゅうり・玉ネギ…各100g】 トマト…100g 豚ひき肉…100g
- B【にんにく・しょうが…各10g】 調味料【カレー粉…小さじ2 塩…小さじ1/2 こしょう…少々】 サラダ油…大さじ1.5 水…50ml ごはん…400g

作り方

- ①Aは5mmの角切り、トマトは1cmの角切り、Bはみじん切りにする。
- ②フライパンにサラダ油とBを入れて加熱し、Aを加えていためる。豚ひき肉を加え火が通ったら、トマト・水・調味料を加えて5分煮る。
- ③ごはんと一緒に盛り付ける。



栄養成分（1人分）

エネルギー 538kcal たんぱく質 17.9g 脂質 11.7g  
炭水化物 91.5g 食塩相当量 1.5g 食物繊維 3.7g

（社）埼玉県栄養士会 行田・羽生の会

### 今月の表紙

6月6日に行われたたんぼアート米づくり体験事業の田植え作業。最初は恐る恐るたんぼに入った子供たちですが、たちまち顔まで泥んこになるほど夢中になって苗を植えていました。（関連記事20ページ）

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をカセットテープに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています